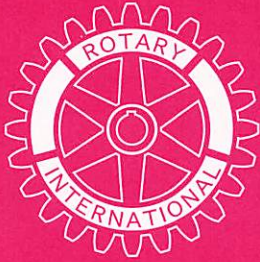


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY
名古屋
ちくさ
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 谷口 優
幹事 竹内 克豊
広報・会報委員長 池森 由幸

No. 42 奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012~2013年度 RI会長 田中 作次

今日の例会

第1460回 平成25年 6月 25日 (火)
最終夜間例会 午後6時 松楓閣

先週の例会

第1459回 平成25年 6月 11日 (火) 曇
友愛の日
樹木医カシナガ消防団RCC活動報告
会員卓話: 竹内 克豊君

◆我等の生業

◆四つのテスト

◆ゲスト紹介 樹木医カシナガ消防団 RCC 隊員
川島 大次 様

◆出席報告

会員 37 (33) 名 出席 29名
出席率 87. 88 %
前々回 5 / 28 (修正出席率) 96. 67 %

竹内幹事報告

- 1) 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方々には3階「梅の間」へお集まり下さい
- 2) 次回例会は25日で午後6時より 最終夜間例会を松楓閣で行います。 昼間の例会はございません。来週18日は休会ですでお間違いないようお願い致します
- 3) お手元にお配り致しております名簿の校正ですが、修正がございましたら、今週中に事務局まで連絡をお願い致します

谷口会長挨拶

・・・RI会長賞受賞報告・・・

6月8日(土曜日)に地区役員および会長幹事懇談会が開催されました。本年度最後の2012年~2013年の2760地区の活動を締めくくる懇談会でした。
千田ガバナー他、ご挨拶があり、本年



度の国際ロータリー及び地区表彰の発表がありました。

国際ロータリーの表彰としては、

- ①「超我の奉仕賞」、②「意義ある業績賞」③「会長賞」④「会員増強推進活動の表彰」⑤「会員増強・拡大賞」⑥「小規模クラブ会員増加の表彰」です。

地区表彰としては、

- ①「ロータリー財団地区奉仕賞」②「ガバナー賞」③「ガバナー特別功労賞」です。

まず地区表彰は、特別に応募することではなく、地区交流の報告書や、その他のクラブの実績、個人については寄付の実績を踏まえて決めるものであります。

千種ロータリークラブとしては、30年の記念の年でもあり、何としても受賞したいとの思いから、国際ロータリーの会長賞に応募しました。応募基準は、かなり厳しく、

- ①ロータリー活動についての報道への貢献、②地域貢献としての継続的な奉仕活動、③ロータリー財団の寄付について会員数で一人100ドルを超えていること、④青少年への奉仕活動が実践されていること
- 等の高いハードルがあり、応募したのは、2760地区では十数のクラブということでした。

応募後、地区事務所からロータリー財団の寄付が、不足しているのではとの連絡を受け急遽不足分を追加したということがありましたが、報道活動については、中部経済新聞社が10月30日の紙面でわがクラブの30周年記念を大きく報道して頂いたことがロータリー活動の報道への貢献として評価して頂き、地域への継続的な貢献については、東山動植物に対する多年にわたる奉仕実績、RCC活動としてのカシナガ消防団への援助活動、青少年への奉仕活動としては名古屋名城ローターアクトクラブの支援クラブであり、桜花学園高等学校のインターアクトクラブの支援を密に行っていることが評価されRI会長賞を受賞できました。

その他のRI表彰として「超我の奉仕賞」は、世界で140名という狭き門で、これには安城ロータリークラブの石川 博氏が受賞されました。この方は、東日本大震災で被害を受けた宮城県内の沿岸部へ80回を超える炊き出しなどの支援活動をされた方で、車両で片道800キロを食料を搭載し活動されたことが受賞の理由となりました。

「意義ある業績賞」には、田原パシフィックロータリークラブが東日本大震災復興支援プロジェクトとして「大船渡市さんまフェスティン田原」を開催されたこと

により受賞されました。このフェスタは名古屋のテレビ局がニュースで大々的に報道していただきましたので皆さまもご存じであると思います。

千種ロータリークラブはR I 会長賞を受賞できましたが、地区表彰としては受賞しませんでした。地区には82クラブがあるので受賞のバランスを考えれば、両方で受賞することまずないと思われます。

R I 会長賞の受賞につき榮譽なことと思います。この報告を持って会長挨拶とさせていただきます。

3分間スピーチ

“インプラントって、奴！”

竹内 克豊君



最近、テレビを初め、マスコミを賑わせることのある、歯科インプラントですが、あんなものはダメだとの声もよく耳にいたします。

ほんとにそうなのでしょうか？

そもそも歯科インプラントって何？私の知る限り、現在主流となっているチタン製スクリュー型インプラントは1950年代にスウェーデンの整形

外科医、ブローネマルク博士がチタンと骨が直接接合することを見だしてから研究を重ね、1964年、初めて歯科への応用をされて以降、様々な改良が加えられたもので、ただの流行でなく、現在ではその成功率は90%以上の統計が出ています。

では歴史的にはいつ頃から使われ始めたのでしょうか。歴史上、最も古いものとして、紀元前550年頃と推定されるトルコの墓所遺跡にあった石棺の中から方解石で作られた歯が発見されています。この犬歯の形をした歯は、金でできた結紮線で隣に歯と結ばれていたと考えられていますが、歯として機能していたかは明らかではありません。

一方、フランスで発見された紀元1世紀後期か2世紀初頭の死亡時30歳前後と推定される遺骨から、上顎に鉄製のインプラントが、またホンジュラスで発見された紀元600年頃のマヤ文明の下顎骨の前歯部に真珠貝製のインプラントが見つかっており、ともに口腔内で機能していたようです。

当初は、死後高貴な人物の容姿を整えることが主であったものが、機能を求める形に変容して行く様は、どの分野もそうですが、歴史を紐解くことで、明らかとなり、興味深さが増します。

さて、現在に立ち返ったとき、この20年ほどで大きな変化が生じています。

当初は歯を失った下顎主体で、そこに骨の存在が必須であったものが、骨がなければ、骨を造る。副鼻腔を有する骨のない上顎にも適用させる。機能だけでなく、審美性も伴わなければならない。etc

しがない一歯科医としてはそのハードルは著しく高いものとなり、日々歯苦歯苦しております。

本日はその実際を供覧頂き、歯科医療の可能性を体感頂ければ幸いです。少々食事時にはそぐわないスライドもごさいますが、ご容赦頂きたく存じます。

◆樹木医カシナガ消防団 RCC 活動報告

カシナガ消防団 愛知県樹木医会 川島 大次様



カシナガ消防団 平成 24 年度の活動報告をさせていただきます。

まずはカシナガ消防団の「カシナガ」とは、これは「ブナ科樹木萎凋病」通称「ナラ枯れ」を引き起こす「カシノナガキクイムシ」の「カシナガ」です。

「ナラ枯れ」とはこのカシナガが食料として持込む菌によって起きる水分ストレスによりブナ科の樹木(ドングリの木)が枯れてしまう樹木の伝染病です。これを何とかできないかと愛知県の樹木医が中心となって発足したのがカシナガ消防団です。

ナラ枯れは H22 年度をピークに H23 年度、24 年度と被害が減少しています。

名古屋市内でも被害は減っていますが、これはナラ枯れによって枯れる木が枯れてしまい無くなってしまい、被害が減少したように見えるだけで、東国山や森林公園ではまだまだ被害が発生し続けています。

又、愛知県の岡崎、安城、豊川では被害が24年度から確認され、東に虫達が移動したことがわかります。今年の気候によってはまた、名古屋市内でも被害地が発生する可能性があります。

全国的なナラ枯れ被害としては、東海では東進、関東では南進しながら東京をめざしている感じです。東北地方ではゆるやかに北進しています。被害量は減少傾向にあるが被害地は分散しています。

24 年度もここ知多市の臨濟宗妙心寺派・龍雲山大興寺の社叢において、総合的防除の研究が愛知県樹木医会と日本福祉大学や薬剤メーカーを中心に実施されました。カシナガ消防団もこの研究に参加しました。

24 年度はラップ巻防除を改善した、粘着資材による脱出成虫の捕獲を行う防除方法と、おとり木、これはあらかじめ(殺虫剤と殺菌剤を樹幹注した木)に誘引物質を取り付け、それにより誘引、捕獲(殺虫)防除の二つを実施しました。

まずは、粘着資材による脱出成虫の捕獲研究とは、平成 23 年度に加害された木(木の中にカシノナガキクイムシがいる木、これを穿入生存木と呼びます)を対象に地際から約 50cm には粘着布、そこから 5m までは粘着紙を粘着面が内側になるようになせん状に貼り付けました。

結果は、対象木のうち 4 本中 3 本からは全く成虫が捕獲できませんでした。このことから穿入生存木では繁殖が困難ということが確認されました。

しかしながら 100%ということではなく、残りの一本からは 0-3m の範囲で約 2800 匹を捕獲しました。

粘着布から粘着紙に変わると捕獲数が急増した。

粘着力に差があることも確認できました。

次に誘引剤とトラップを使つての捕獲調査を行なった。

①フェロモン(カシナガが発する匂い)+ カイロモン(木が発する匂い)

②カイロモンのみ

③フェロモンのみ

④何も無し

で捕獲数を調査した。

①のトラップの捕獲数が他に比べて4倍近く多く捕獲することができました。

同時に誘引剤とおとり木(殺菌剤と殺虫剤を樹幹注入した木)を使用した調査でも同様に捕獲数を調査した。

④に比べて①は13倍の捕獲数が確認されました。

捕獲数の調査と同時に林内の被害木の調査も実施しました。初加害木はおとり木のみとなり、枯死木は発生しなかった。カシナガをうまくおとり木に誘引し、ナラ枯被害を防ぐことが出来る可能性が確認できました。

大興寺、愛知県、知多市、森林総合研究所、薬品メーカー、造園会社そして、千種ロータリークラブの協力を経て、この森を守り続けてきた地元のヤマボウシの会と日本福祉大学福田教授と愛知県樹木医会カシナガ消防団が共同でこの防除作戦が展開されてきました。知多半島の被害地としては最南端のこの地のカシナガ被害の火を消すことで知多半島での被害の拡大を食い止めることが出来そうです。この成果より総合防除が被害地での被害を終息させられそうだとということもわかってきました。

私達消防団の出来ることは非常に小さく微力ですが、これだけの仲間や支援が集まり大きな成果になりつつあります。このような活動こそがカシナガ消防団の目指すところであります。

これからもこのような活動が出来るよう日々努力して参ります。どうぞ今後もご指導、ご協力よろしくお願ひします。



◆6月理事役員会議事録(6/11)

審議事項

1. 次年度親睦委員会での決定案の件

・友愛の日 家族、友人の参加について

友人知人(千種RC入会の勧誘ということを前提とした上で)家族の参加 承認
家族参加に料金についてはビジター料金として頂くか割引料金なのか、料金設定について
次年度の審議事項とする

・親睦行事について

秋季家族会についてアンケート結果をもとに歌舞伎座 決定 日程については10月12日を第一希望とするが、10月の演目等は未定の為保留、決まり次第報告 承認
次年度親睦行事に退会された方や、その奥様方へのお声掛けすることについて

次年度の審議事項とする

2. 事務局の部屋を他クラブ(東山RC)と共同使用することに関して検討することに付いての前年度からの経過報告

・・・この件は次年度継続審議とする

3. 4月の理事会議題 事務局のIT関係の見直しについての報告 ・・・次年度予算にPC、ネット関係周辺機器を含め25万円計上する

4. 舎人経昭君 定款第9条第3節(b)規定適用願ひ出席免除 年齢+ロータリー在籍年数85で、適用となる

5. 30周年記念誌発行についての報告
14日に納入予定18日の例会が休会の為最終例会でお渡しする

6. 陸前高田RCとの今後に親交について
記念誌をお送りする際に、今後ウィークリーの交換などから交流を続けたい旨手紙をお出しする

7. 新入予定会員について 経過報告

松楓閣様 次年度より入会予定

江口武史様 次年度からは難しいがいずれ再入会予定

日本生命様 書面にて次年度からの例会出席をお願いしたい旨連絡する

8. 会員増強プロジェクトについて

次年度、特別委員会をつくってはどうか。継続をしたほうが良い。

9. 被災高校生支援については3年事業で有る為次年度も継続事業 上半期会費と共に支援金徴収する

《7月例会内容のお知らせ》

7月 2日(火) 12:30 名古屋東急ホテル
3階 錦の間
新旧会長挨拶 前年度皆出席者表彰

7月 9日(火) 12:30 名古屋東急ホテル
3階 錦の間
クラブフォーラム 委員会活動報告

7月16日(火) 12:30 名古屋東急ホテル
4階 舞の間
クラブフォーラム 委員会活動報告
< 例会後:クラブアセンブリー・理事会
4階 桐の間 >

7月23日(火) 12:30 名古屋東急ホテル
3階 錦の間
東RC会長幹事 例会訪問

7月30日(火) 12:30 名古屋東急ホテル
3階 錦の間
友愛の日

《ロータリーの友 6月号より》

管理委員長の思い

■ロータリー財団のさらなる発展を祈って

2012-13 年度ロータリー財団管理委員長
ウィルフリッド J. (Wilf)

6月号の管理委員長メッセージを書く時期となり、私は喜びとともに一抹の寂しさを感じています。ロータリーでの50年、私はロータリアンたちが世界中で行ってきた良いことを見る機会に恵まれました。

机、黒板、本、安全な水、運動場、ユースクラブを贈られた子どもたちの顔を見ることができました。これらはみなロータリアンの手によってもたらされたものです。私自身、自らの手で、ポリオを予防するためのワクチンを、多くの国の子どもたちに授与しました。

さまざまな宗教のリーダーと面会する機会もあり、そんなときは決まって、ロータリアンによる意義深い消動が話題に上りました。また、ロータリーを代表して世界各地を訪問する中でお会いした国王、大統領、首相、大使も、温かいメッセージをロータリーに送っていただきました。

ロータリー財団管理委員長としての私の任務は終わりますが、私の心は、未来の夢計画の全世界導入に対する期待で満たされています。ロータリー財団は、未来の夢を通じて、多くの人の生活に変化をもたらす持続可能なプロジェクトを実現する、唯一無二の財団となるでしょう。

私が国際ロータリー (RI) 会長だった年度のテーマは「ロータリーは分かちあいの心」でしたが、管理委員長となっても、私はこの「心」を大切にしてきました。この心をもって、田中作次 RI 会長が選んだ「奉仕を通じて平和を」の素晴らしいテーマを分かちあってきたことに、私は喜びを感じています。

次年度は、ロン・バートン会長エレクトが定めたテーマの下、「ロータリーを實踐して」、ロータリアンを含む「みんなに豊かな人生を」もたらすために、全力を注ぎたいと思います。

次年度の管理委員長となられる李東建元 RI 会長と次期管理委員を温かくお迎えください。世界で良いことをするため、ロータリー財団のさらなる発展を祈っています。

《ロータリーの友 6月号より》

エバンストン便り

国際大会が行われたポルトガルに因んで
～ ポートワインのお話 ～

ポートワインには、さまざまな種類があります。このワインを知るために、いろいろな味を試してみるのも楽しみの一つでしょう。

Rubyport (ルビーポート) は、さまざまなブドウ園からできたワインをブレンドしたもので、食後にそのまま飲んだり、チーズやデザートと一緒に楽しんだりします。

Tawnyport (タウニーポート) は、樽で10~40年間寝かせた赤みのある茶色で、口あたりが良くまろやかでマディラワインと似ています。

食事の最後に冷えたものを飲むのが最高ですが、食前酒としても適しています。

LBV と呼ばれるビンテージ種は、長期の熟成期間を経たタウニーポートの一種で、深みのある味わいが特徴です。Colheita (コルヘイタ) もその一つで、主な銘柄には Krohn があります。

Quinta (キンタ) とは定評のあるブドウ園を意味します。Single quinta とは一つのブドウ園で作られることを意味し、そのビンテージポートの熟成は、比較的短い年月 (15-20年) です。

VintagePort (ビンテージポート) は、ポート愛好家をもうならせる代物で、特定年のものがあれば、半永久的に寝かされるものもあります。1931年産 uinta do Noval (キンタ・ド・ノヴァル) は、口の中に楽園が広がるような味わいなのだそうです。



ニコボックス

小林 英毅

5日に歌舞伎座に下見に行ってきました。
10月には皆さんと一緒したいです。
お寿司の助六の由来がわかりました。

小山 雅弘

本日早退致します

竹内 克豊

スピーチ宜しくお願い致します

渡邊 源市

5月のことになりますが、日本糖尿病学会でクリニクデータ発表をしてきました。
10年ぶりの発表でした。

足立 一郎

加藤 重雄

近藤 和幸

大口 弘和

佐久間良治

鈴木 理之

谷口 優

萩原喜代子

川端 圭

宮尾 紘司

太田 和孝

佐野 寛

鈴木 聖三

舎人 経昭

池森 由幸

貴志 浩司

西川 豊長

大谷 恩

笹野 義春

竹内 眞三

吉田 玄

カシナガ消防団の皆様、社会活動ご苦労様です
3分間スピーチ竹内幹事宜しく申し上げます!



合計 33,000 円

次回例会 : 平成25年 7月 2日 (火) 3F 錦の間

新・旧会長挨拶 前年度皆出席者表彰